

## 浮島校区まちづくりタウンミーティング 開催結果報告書

開催日時 令和4年7月26日火曜日 19:00~20:00  
場所 浮島公民館2階会議室  
司会・進行 浮島校区連合自治会長  
参加者数 男 27人 女 7人 合計 34人



### 1. 市の重点事業に関する質問

【質疑応答】

(質問者)

小中学校のトイレの改修・洋式化ということで改修を進めている話があったが、体育館のエアコン設置についても以前話があったと思うが、進捗状況を教えてほしい。

インターハイのウエイトリフティングについて新型コロナウイルス感染拡大の中、入場制限があるのか。

総合運動公園整備事業計画の進捗状況についてお聞きしたい。

ごみの一部有料化に関して、直接搬入と戸別収集について、各自治会にも説明していただけだと思うが、未回収ごみや不法投棄が増えるのではないかというおそれもある。料金に関しては最終的なことなのか、事業を進めていく上で変わることもあるのかお聞きしたい。

**(市長)**

洋式トイレと体育館のエアコン設置の要望が出た中で、児童・生徒が洋式トイレを求めていることから、まず洋式トイレを先に行い、体育館のエアコン設置はそれ以降ということで進めさせてもらっている。

ウェイトリフティングの入場については、今回のコロナ感染拡大に伴い残念ながら一般の方の入場はできない。

総合運動公園整備事業については、平成29年度に基本構想を作成し、その後、地籍調査と測量を3年かけて行い、測量が昨年終わったので、これからどういう施設を何処にどのように配置するのかを考える。場所は観音原の山なので、切土あるいは盛り土にするのか具体的に設計していくのが今の状況である。

ごみの有料化については、パブリックコメントで案を説明し、特に意見がなかった。条例も制定されているので、この金額で進めていく。

**2. 校区課題**

**課題名（浮島小学校の通学区域の線引きについて）**

**【質疑応答】**

**(質問者)**

松の木地域西端の松の木町1番は、高津小学校に通学し、それより東の松の木町2番から13番は浮島小学校に通学することとなっているが、以前から、多くの子どもが指定の浮島小学校ではなく高津小学校に通学している。

子どもが高津小学校に通っていると保護者も高津校区の方に意識が向き、自治会への加入率低下にもつながっており、高齢世帯が増えている中、自治会活動の担い手不足という地域問題となっている。浮島小学校は、市内で別子小学校を除き一番児童数が少なく、今後、少子化が更に進行した場合、浮島小学校の存続についても心配しなければならなくなるが、通学区域の線引きや学校の存続、校区割について、どのように考え、見直していくことになるのかお聞きしたい。

**(教育長)**

新居浜市全体の児童数の推移については、児童数は、平成25年度に6,519人であったが、減少が続いており、今年度は5,890人で、10年間で629人、約10%減少している。

浮島小学校については、ここ10年間では減少傾向にはなく、ほぼ同じ児童数で、今年度は114名となっている。

松の木町から高津小学校に通学している児童は、今年度は、松の木町2番から13番に在住している児童28名のうち、22名が高津小学校、6名が浮島小学校に通学しております。昨年度は、31名のうち、22名が高津小学校、9名が浮島小学校に通学しており、およそ7割の子どもが高津小学校に通っているという状況である。

入学する学校は、住所地により指定されているが、家庭の事情等により変更が認められている。浮島小学校から高津小学校への変更については、兄姉が高津小学校に在学しているので同じ学校に通わせたい（今年度9名）、保護者の就労等のため、放課後、高津校区の祖父母等にみてもらう必要がある（今年度7名）、高津校区の自治会に加入している（今年度2名）、高津小学校在学中に松の木町に転居したが、引き続き同じ学校に通いたい（今年度4名）という理由によるものである。

今後、浮島小学校の通学区域の線引きや、学校そのものの在り方等について、どのように考え、見直していくのかということについては、少子化に伴い、これから各学校の小規模化が進んでいくことになり、浮島小学校に限らず、市内全ての学校で今後の在り方を考えていく必要がある。今年度、市内小中学校の将来の適正規模・適正配置に関する基本計画の策定を進めており、今年度末には、皆様に計画をお示しができると思う。

計画の中では、子どもたちにとって望ましい教育環境の整備のため、将来的に一定の学校規模を確保していくというのが基本的な考え方となる。

学校規模を保つ方策については、市内小中学校の統廃合を含めた多方面からの検討を行っていくが、地域の実状などを踏まえ、他の公共施設との複合化、例えば、近隣の公民館や児童センター、高齢者福祉センター、保育園等との複合施設とする、小学校と中学校が9年間を見通した小中一貫教育の導入のほか、小規模校ならではのメリットを生かした、特色ある学校として存続させることについても検討を行っていく。

なお、この基本計画については、お示してこれで決定ということではない。市内小中学校の現状や児童生徒数の見通し等を踏まえ、保護者の皆様や地域の皆様と十分に話をする機会を持ち、その上で子どもたちの将来にとって望ましい教育環境の在り方を皆様と一緒に考えていきたいと思っている。

平成29年5月に今後の学校の在り方に関する検討委員会を設置して、今後の新居浜市の学校をどのようにするか審議いただき、令和3年3月に当委員会から答申をいただいた。その答申を受けて、現在教育委員会事務局で全体像や各地域の計画等について協議しており、今年度末にはそれを皆さんにお示しできる。保護者や地域の方々ご意見を聞きながら一緒に考え、子どもたちのためになる計画をつくりたい。

#### **(質問者)**

市内小中学校の将来の適正規模・適正配置に関する基本計画について、今年度末に示すということであるが、どこかに集まって会合を開くとか、有識者や地域の方を選抜してどこかで会を開くのか、そういった基本的な説明会を持つのか、それはあくまで計画であって、地域の方や保護者の意見を反映させることができるのか、お聞きしたい。

#### **(教育長)**

基本計画案は誰でも見ていただけるように公表し、パブリックコメントでのご意見をふまえて、それぞれの校区で、特に議論が必要なところには丁寧に話をして、ご意見を聞く機会を持ちながら一緒に考えていく姿勢は大事にしたいと思っている。

※ 再検討事項 . . . . なし

### 3. その他

#### 石川市長総括

小学校の校区制の問題については、一気に解決できるものでなく、今後は学校そのものだけでなく、校区の区割りそのものを見直すこともあるかと思う。今年度中に計画案をお示しできるので、それを受けてまた議論していただきたいと思う。

ごみの有料化、上下水道料金の値上げについては、値上ラッシュの中で大変心苦しい限りであるが、将来安定した市の運営を行っていく上で必要なことであるので、ご理解ご協力をいただきたい。